



World Association  
of Girl Guides  
and Girl Scouts

Association mondiale  
des Guides et des  
Eclaireuses

Asociación  
Mundial de las  
Guías Scouts



World Thinking Day 2016  
2016年ワールドシンキングデイ

**Connect**  
つながる

日本連盟版

「つながる」ということは、認められ、意見を聞かれ、尊重されていると感じる人々の間に生み出される活力である。

ブレネー・ブラウン

WAGGGSとワールドセンターのボランティアとスタッフの皆さまの絶え間ない努力に感謝いたします。つながりを作り、世界中にすばらしいガールガイド・ガールスカウト経験をもたらしています。

著者:ネフェリ・テメリ アンディー・フェアホーベン  
デザイン:アンドリアナ・ナッソー

© WAGGGS, 2015

World Association of Girl Guides and Girl Scouts  
World Bureau  
12c Lyndhurst Road  
London, NW3 5PQ, UK

Telephone: +44 (0)20 7794 1181  
Facsimile: +44 (0)20 7431 3764  
Email: [waggs@waggs.org](mailto:waggs@waggs.org)  
[www.waggs.org](http://www.waggs.org)

Registered Charity No. 1159255

# もくじ

2016年のワールドシンキングデイ .....	4
ワールドシンキングデイファンドとは .....	5
活動の要素とその説明 .....	6
会員増強のアイデア .....	7
リーダーのための概要説明 .....	8
私とつながる .....	10
友だちとつながる .....	16
WAGGGSとつながる .....	22
世界とつながる .....	32
1千万人とつながる .....	40
付録	
活動:「自分の学習スタイルとつながる」のための資料 .....	42
2016年のワールドシンキングデイパズル .....	45
活動:「5つの地域とつながる」のための写真 .....	53
WAGGGSの世界規模のプログラム .....	54

# 2016年のワールドシンキングデイ!

ガールスカウト経験とは、私たちを取り巻く世界や出会った人々とつながるといふ、生涯続く冒険であるといえます。今回のワールドシンキングデイ(WTD)には、私たちの身近な人々、気になる場所、もしくは地球の裏側のガールスカウトの友人の人生がより良いものとなるよう、意義のあるつながりを探し、お祝いしましょう。

## 2016年のワールドシンキングデイは、こんなことに挑戦しましょう。

- ・4つの特別なつながりを作り、4つのパズルのピースを集める。
- ・パズルのピースを組み合わせ、あなたのつながりについて世界に知らせる。



たくさんのつながりを持つことは大切です。なぜなら、私たちを幸せにしてくれるからです。では、本当につながっていると感じるには、どういうことでしょうか?自分自身を見つめ直し、自分がどこにいるのか確かめ、周りの人々とつながるとは、どういうことか考えてみましょう。この活動パックを通して、5つのつながりを作りながら答えを探しましょう。



**私とつながる(10ページ)**:自分自身とつながり、自分が幸せや自信を感じることはどんなことかを見つめ直すことにより、周りの人々の人生に、より大きな変化をもたらしましょう



**友だちとつながる(16ページ)**:つながりとは友情であり、友情とは幸せです。では、よい友だちとは、どんな友だちでしょうか?気にかかっている誰かとつながり、友だちをガールスカウト活動に誘い、あなたにとって大切なつながりについて考えましょう。



**WAGGGSとつながる(22ページ)**:より広い世界に目を向け、ガールガイド・ガールスカウトのすばらしい世界とつながりましょう。1千万人の1人であることを実感し、世界規模の運動について学び、WAGGGSのワールドセンターについて学びましょう。



**世界とつながる(32ページ)**:さらに広い世界に目を向け、あなたが気になる場所で、どんな変化を起こすことができるか考えましょう。外に出て活動し、自分の地域社会や自然について知り、自分の周りの世界について学びましょう。



**1千万人とつながる(40ページ)**そして、あなたの体験を世界中の1千万人のガールガイド・ガールスカウトと共有しましょう。

世界中の仲間とつながるには、インターネットを活用します。フェイスブックやツイッターなどにメッセージや活動の様子を掲載する際は、2016年のワールドシンキングデイとしてつながるためのハッシュタグ、**#WTD2016**や**#Connect10million**をつけましょう。

## ワールドシンキングデイに 特別なつながりを作りませんか。 ワールドシンキングデイファンドを寄付しましょう。

資金調達活動を企画し、実施することは、子どもや若者にチームワークや企画する能力を育て、ガールスカウト運動やより広い世界について学び、自分たちが真剣に取り組んだ活動が、他連盟のガールガイド・ガールスカウトの生き方を変える機会をもたらしていることを実感することになります。

ワールドシンキングデイファンドは、日本連盟を通してWAGGGSに送られます。日本のガールスカウトの団や個人によるワールドシンキングデイファンドは、日本連盟でまとめて世界連盟に送金します。寄付の受付は、各都道府県連盟になりますので、送金方法については各都道府県連盟にお問い合わせください。なお、ワールドシンキングデイファンドについては、各年の受付期限が設定されていますので、ご確認ください。(その年の締め切りを過ぎて送られた寄付については、翌年の寄付として送られます。)

ワールドシンキングデイファンドを集める活動には、次のような例があります。

- ゲームや楽しい活動を体験するWTDのイベントを主催し、少しの参加費を集める。学校、地域センターや公民館で、この活動パックの活動例を実施する。
- 地域社会での宝探しゲームやクイズ大会を開催し、参加グループから参加費を集め、勝ったグループを表彰する。
- 折り紙で小箱を作り、家に持ち帰ってその小箱に小銭をためる。
- スポンサー付き(事前に目標を設定し、達成したら寄付をいただく約束をしておく)のハイキング、水泳、キャンプ、沈黙の時間などを実施する。
- 実施可能な場合は、学校に「おしゃれの日」を実施する許可をもらい、安くておしゃれな洋服で登校する日を企画する。
- グルメ食事会、ダンスパーティー、アフタヌーンティーなどの特別なイベントを企画し、チケットを販売する。

資金調達活動に取り組みましょう!

各章から活動を選ぶ目安として、次の印に沿って内容を説明しています。  
参考にしてください。



ねらい

その活動を実施することにより達成が期待される目標、学習効果、体験



時間

活動にかかる時間の目安



準備

活動に必要な物、場所、環境の提案



年齢

対象年齢、部門



活動方法

活動の進め方



発展

その活動を楽しんだら、さらに時間をかけて、次の段階へと活動を発展させましょう!



他の方法

他の方法で実施する提案



ヒント

対象年齢よりも年下、もしくは年上の年代がその活動に取り組む方法の提案

ワールドシンキングデイは、  
ガールスカウトであることが、  
どんなに素晴らしいことであるかを世界に示し、  
若者にガールスカウトへの参加を促す絶好の機会です。

WTDを団や運動全体の会員増強にどのように生かすことができるでしょうか？

- **友だちを連れて来る**:WTDの活動に、会員が1人ずつ友だちを連れて参加する。
- **いつもと違う場所で活動する**:いつもの集会場所でWTDプログラムを実施するのではなく、地元の学校やより広い地域の子どもが参加できるような場所で行う。または、近隣の学校でWTDプログラムを実施することができるか問い合わせる。
- **多様性を広げる**:あなたの地域で、ガールスカウト活動のことを知らないグループがあれば、グループとつながりを持ち、彼らのニーズに合わせたWTDプログラムを実施することができるか検討する。そして、そのグループとともに活動し、子どもに楽しい機会を提供する。企画に会員も参画することにより、多様性の理解につなげる。
- **世界に伝える**:自分たちの活動をメディアに伝えるためにWTDを活用する。自分たちのイベントに地元のメディアを招待する、地元のメディアに投稿する、ソーシャルメディアなどを通して地域社会に自分たちの活動を広報する。
- **学生を招待する**:地元の大学の学生にWTDの活動実施の際のお手伝いを依頼する。その経験が楽しければ、自らボランティアをしようとするかもしれない！
- 自分たちより年下の部門のために、WTDプログラムを実施する。

## WAGGGSとつながろう！

WAGGGSの公式ウェブサイト ([www.waggs.org](http://www.waggs.org))、ツイッター (@waggs\_world)、フェイスブック ([www.facebook.com/waggs](http://www.facebook.com/waggs))、タンブラー ([waggsdtd.tumblr.com/submit](http://waggsdtd.tumblr.com/submit)) をご覧ください。

もしくは、みなさんのWTDの活動をメールでメールアドレス ([youthlearning@waggs.org](mailto:youthlearning@waggs.org)) に送ってください。(すべて英語)

SNSで発信する際は、#WTD2016と#Connect10millionのハッシュタグをつけることも忘れずに！

(団のフェイスブックなどに活動の様子を日本語で掲載する場合も、このハッシュタグをつけると世界の仲間が情報を見つけることができ、日本語が読めない人もワールドシンキングデイの活動であることが分かります。)

# リーダーのための概要説明

WAGGGSは、団でワールドシンキングデイを祝う活動を実施する際の参考とするために、この活動パックを作りました。2016年のWTDを最大限に活用できるようにしましょう。

**活動パックの使い方:**5つの章で構成され、パズルに挑戦します。最初の4章は、1つずつ活動を選び、取り組むことで4つのパズルのピースを集めます。最後に、パズルを完成させ、第5章の活動に取り組み、世界の1千万人とつながります。各章には、簡単に短時間で実施できる活動と、時間をかけて大きな挑戦をする活動が含まれています。

各章から1つずつ活動に取り組みますが、活動は第1章から順番に最後まで続け、最後に1千万人とつながるようにしてください。第5章の活動が、さまざまな活動のまとめとなり、4つの活動から何を学んだかをふりかえることになっているためです。

**活動時間:**5つのすべての活動を90分間の集会でできるように作られています。もし、時間がある場合は、「発展」のアイデアを活用する、もしくは他の活動に取り組むこともできます。

**リーダーは何をしたらよいか:**事前に活動パック全体を読んでください。そして、あなたの団で活動を実施するために内容を修正する必要があるかどうか、確認してください。この活動パックは、146のさまざまな国や地域のすべての年代の会員のために作られているため、自分の団の状況に合った活動にする必要があるからです。各活動の最初に示されている、「ねらい」を変更することはできませんが、活動の進め方を修正することはできます。あなたの団のことを一番よく分かっているのは、あなたです!団のスカウトとともに活動を計画する時間を作りましょう。

**どのように実施するか:**ガールスカウトの教育方法の中心となるのは、少女自身が主体的に活動することで力をつけるということです。主体となって活動することは体験をより楽しく充実したものにします。そのために、できる限り、少女が主体となって進めるようにしてください。年少部門では、WTDについて学び、質問する場を作ります。少女が取り組みたい活動を選び、活動を成し遂げるために協力し、活動の企画運営の簡単な役割を担うことができるよう、リーダーは支援します。年長部門は、パトロールで活動する中で少女が活動を選び、自分たちにあうように修正し、企画運営します。

**2016年のWTDのあとは:**1千万人とつながり続けましょう。活動の一部は、資金調達や地域プロジェクトのように、より大規模な活動に発展させることができます。その他のWAGGGSの活動に取り組むこともできますし、団でワールドセンターへの旅を企画し始めてもよいでしょう。いつでもまた取り組むことができることを忘れないでください。WAGGGSの公式ウェブサイト([www.waggggs.org](http://www.waggggs.org))でWAGGGSや国際的な機会とつながり続けましょう。

あなたの活動パックの活用方法や写真を共有することを忘れずに!  
公式ウェブサイト:[www.waggggs.org](http://www.waggggs.org) メールアドレス:[youthlearning@waggggs.org](mailto:youthlearning@waggggs.org) (英語)

**「つながる」準備はできましたか？  
さあ、始めましょう！**

# 私と つながる

## 活動を1つ選ぼう

自己開発にさらに取り組み、各自のチャレンジを可能性に変えて、パズルの最初のピースを手に入れます。  
時間があれば、もっといろいろな活動に積極的に取り組んでください!



# 1

## 幸せのスーパーヒーローとつながろう!



ねらい:自分自身、そして他の人をどうやって幸せにするか考える



### 準備:

新聞、セロハンテープ、その他スーパーヒーローの衣装づくりに使えるようなリサイクルして使える材料  
パトロールで実施



### 活動方法:

1. スーパーヒーローの使命が人々を幸せにすることだとしたら、どんな能力が必要かをパトロールで考え、リストを作る。
2. パトロールの中から1人選び、その人にスーパーヒーローになってもらい、みんなで幸せのスーパーパワーをもっていることがわかるようなヒーローの衣装を新聞紙やリサイクル材料を使って作る。
3. 衣装ができ上がったら、スーパーヒーローを他のパトロールに紹介する。
4. 話し合う: 次のように投げかけ、自由に意見を述べる時間とする。  
「自分や他の人を幸せにするために、私たちは既にどんな力を持っているでしょうか?」



### 発展:

スーパーヒーローが活躍するマンガを描く: 1つの場面を描いてもいいですし、実際に演じながら写真を撮り、1コマずつつなげてみましょう。  
みなさんのアイデアをソーシャルメディアで紹介してください。  
その場合、ハッシュタグ#WTD2016と#connect10millionを忘れずにつけてください。



# 2 自分の呼吸とつながる



ねらい:心を集中させ、リラックスする



準備:

参加者が座ったり横になれる屋内または屋外のスペース  
リラックス音楽(任意)



活動方法:

1. 全員で床に座るか横になる。
2. 以下の原稿をゆっくりと静かな声で、一文ずつ間をあげながら読む。  
「リラックスしてください。  
できるだけ、じっと、静かにしましょう…目を軽く閉じながら背筋を伸ばします。  
自分の呼吸に集中しましょう。お腹の中で風船を膨らませるように、ゆっくりと息を吸い込みます。  
次に、ゆっくりと息を吐き、風船がしぼんでいくのを感じるようにします。  
お腹がどんな風に膨らむか、意識しながら息を吸いましょう。  
お腹がへこむのを感じながら息を吐きましょう。  
この呼吸を5~10回繰り返します。息を吸ったり吐いたりする時にどんな感じがするか観察しましょう。」
3. 話し合う:次のように投げかけ、自由に意見を述べる時間とする。  
「この呼吸をしてみて、どのように感じましたか?どんな状況でも、呼吸に集中することは落ち着くためのとても簡単な手段の一つです。あなたにとって、どんな時に役立ちそうですか?」



ヒント:

年少部門の場合、お手玉やぬいぐるみをお腹の上に置いて横になり、それをゆっくり上下に動かしてみる、口の前で手を組んで息が出たり入ったりするのを感じるようにしてみると、この活動を行いやすいでしょう。



# 3

## 自分の学習スタイルとつながる



ねらい：自分の学習スタイルを探る



準備：

折り紙または正方形の紙（1パトロールに3枚ずつ）

42～43ページのA,B,Cの折り紙の作り方のコピーをパトロールに1セット

（全体を3つグループに分け、A,B,Cの折り方別に3カ所の場所を設置し、順に回るようにする。）



活動方法：

1. この活動はパトロールで行い、3種類の折り方に各5分ずつかけて順番に挑戦する。「私たちの学習スタイルは、一人ずつ異なります。あなたは自分の学習スタイルを知っていますか？この活動がそれを見つける手助けになるでしょう。」

### 折り紙A

パトロールのメンバー1人が進行役になり、折り方の説明を見る。その人は、他の人に折り方を口頭でのみ説明しながら、他のパトロールメンバー全員が折り紙を作る。折り方の説明の絵を見せたり、動作で示してはいけない。誰が折り紙Aを完成できたか確認する。

\*全員が完成できなくてもよい。

### 折り紙B

パトロールメンバー全員が折り方の説明を見ることができる。ただし、お互い話をしないで折り方の説明を自分で見て折る。誰が折り紙Bを完成できたか確認する。

\*全員が完成できなくてもよい。

### 折り紙C

パトロールのメンバーのうち1人が進行役になり折り方の説明を見る。そして一段階ごとに折り方を見せながら、全員一緒に折っていく。誰が折り紙Cを完成できたか確認する。

\*全員が完成できなくてもよい。

### 2. 話し合う：

A,B,Cの折り方の中で、どの方法が分かりやすかったか？

それぞれの折り方の学習スタイルについてどう思うか？

どんな学習スタイルがそれぞれの折り方に表されていると思うか？

なぜ自分自身の学習スタイルを知ることが役に立つと思うか？

折り紙Aは聴覚型学習者向け。  
折り紙Bは視覚型学習者向け。  
折り紙Cは運動型学習者向け。

この活動は、学習スタイルについて知るためのほんの小さな判断材料です。他にもさまざまな方法があります！ここで説明した学習スタイルについてもっと知りたい場合は、44ページを見るか、インターネットなどで調べてみましょう。



# 4

## 他の人々を通じて自分自身とつながる



ねらい: 仲間の助けを借りて自分に自信を持つ



準備:

1人につき1枚の紙。安全ピンで背中に留める。人数分の鉛筆またはペン



活動方法:

1. 全員が部屋の中を自由に歩き回る。合図があったら2人1組になり、相手の背中の紙に前向きなメッセージを書く。  
前向きなメッセージとは、たとえば次のようなこと。
  - 力づけるようなことば
  - 人を笑わせるようなこと
  - その人の性格の中であなたが高く評価していること
  - その人の外見であなたがとても好きなおとこ
2. メッセージを書くために十分な時間を取る。
3. もう一度、部屋を自由に歩き回る。合図があったら2人1組になり、相手の背中の前向きなメッセージ読み上げ、背中から紙を取って渡す。自分へのメッセージを読み、その言葉について考えるための時間をとる。
4. 話し合う:
  - メッセージを読んでどう思ったか?
  - 自分自身について何か新しく学んだことはあったか?
  - 自分がもらったメッセージについて考えたら、自分が書いたメッセージを紹介し、どうしてそれを書いたのか説明する。いつでも思い出せるように紙を取っておいてもいいですね!



発展:

インターネットに接続できる場合は、ソーシャルメディアを使ってこの活動を実施することもできます。個人でもグループでも、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、グーグルプラス等を使って、他の団、連盟のメンバーに、前向きで心に響くメッセージや写真を送ることができるでしょう! ハッシュタグ#WTD2016と#connect10millionを忘れずにつけてください。



# 5 チャレンジとつながる



**ねらい:**自分がチャレンジする課題を設定し、目標を高く持つ



**準備:**

人数分の紙または附箋、筆記用具

写真やビデオを撮るためのカメラまたは携帯電話(必要に応じて)



**活動方法:**

1. 次の集会までに完成できる課題を一人ひとりが設定する。自分の居心地のいい場所から一歩出なければならず、勇気が必要なものなら何でもよい。例えば、何か新しいことに挑戦する、難しそうなことをやってみる、怖いと思っていることを克服するなど。新しい人や物事につながることに挑戦することでもよい。
2. 選んだチャレンジを発表する「チャレンジの掲示板」を作る。
3. 次の集会で、自分の体験を話す。



**ヒント:**

年少部門ではパトロール全体で目標を設定してもよいでしょう。必要に応じて、保護者の協力をお願いしましょう。



**発展:**

チャレンジの過程をビデオクリップや写真に撮る、短いドキュメンタリーを作るなど、設定した目標にむけた「チャレンジの旅」を記録することもできるでしょう。どんな方法でもよいので、発表する時には視覚的な材料を使いましょう。



# 友だちと つながる

## 活動を1つ選ぼう

次のパズルのピースを得るために、楽しい課題に取り組み、友だちについてもっと学びましょう！  
時間があれば、さらにいろいろな活動にチャレンジしてみましょう！



# 1

## 友情でつながる



ねらい:よい友だちを作るのに必要なことを確認する



準備:  
パトロールで作業するための紙と筆記用具



活動方法:

1. 良い友だちを作るのに必要なことについて話し合い、最も大切だと思うことを5つえらび、紙に書く。
2. パトロールで、選んだ5つのことのそれぞれを象徴する形を決める。  
(例えば:「話をよくきくこと」は○で表すなど)
3. 各自が得意だと思うことを5つの中から選び、選んだ物を象徴する形(2. で決めた形)を動作やジェスチャーで表現する方法を考える。
4. 最後に、パトロール全員が輪になり、各自の選んだ得意なことの形を順番にジェスチャーで表現し、人間「友情のブレスレット」をつくり、それぞれの得意なことを共有する。



# 2

## 紙飛行機とつながる (紙飛行機を作って、長所を発見しよう)



ねらい:自分のパトロールのメンバーの長所を発見する



準備:  
紙、筆記用具、そして想像力!



### 活動方法:

1. 2人1組になり、各ペアに紙と筆記用具を配布する。  
広い場所を使い、隣のペアとの間隔を十分にとる。
2. 一番遠くまで飛ぶような紙飛行機をペアで作る。
3. 紙飛行機ができれば、1人の長所を一方の翼に、もう1人の長所をもう一方の翼に書く。
4. 全員の紙飛行機を大きな袋(中身が見えない袋がよい)に集めてから、各ペアが袋の中の紙飛行機を1つ取り出す。
5. 手にした紙飛行機を飛ばし、どの紙飛行機が一番遠くまで飛ぶか競争する。
6. 最も遠くに飛んだ紙飛行機から、リーダーが翼に書かれた長所を読み、どのペアが作った紙飛行機かを当てる。このゲームのねらいは、翼に書かれた長所から、どのペアが作った紙飛行機かを当てることである。
7. 全員の答えが出そろったところで、答え合わせをする。遠くに飛んだ飛行機から順に、同様にすべての紙飛行機を作った人を当てる。一番飛ばなかった飛行機が最後となる。
8. 話し合う:みんなの答えは、どのくらい正解したか?そして、どのくらい惜しかったか?



### 他の方法:

人数が少ない場合は、一人ひとり紙飛行機を作り、みんなで誰の作った飛行機かを当てることもできます。

すべての  
年齢

15分

# 3

## 応援してくれる人とつながる



ねらい：積極的に褒めることの効果を経験し、連帯感を養う。



準備：  
2人1組になる



活動方法：

1. この活動は、じゃんけんゲーム。ペアで、じゃんけんをする。
2. 負けた人は、勝った人の名前や良いところを褒め、勝った人を応援する人になり、後ろにつながる。勝った人はじゃんけんを続け、応援してくれる人を集め続ける。全員が1つのチームなるまで続ける。
3. 話し合う：ゲームを行っている間、どのように感じたか？  
応援された時、他の人を応援した時、楽しかったか？  
日常生活の中で、どのくらいを応援する褒め言葉を言っているだろうか？

すべての  
年齢

10分  
↑

# 4

## 魔法の靴とつながる



ねらい:問題解決の力を高める



準備:

屋外のスペースや空き地で、出発点(A)と終点(B)を決める(約3メートル離れた場所)  
靴(長靴でもよい)1足(パトロールに1足)…参加者の誰もが履けるくらいの大きめのサイズ



活動方法:

1. 1足の魔法の靴を使ってA地点からB地点までパトロール全員を移動させる。  
その際、以下のルールを守ることをよく説明する。ルールに従って進めると、簡単なことではない。

ルール1:魔法の靴を履いている足以外は、体のどんな部分も地面についてはいけない。

ルール2:A地点とB地点の間は、魔法の靴を履いて移動するか、靴を持って運ぶことができるが、投げて渡すことはできない。

ルール3:A地点からB地点へ移動するためには、片足につき魔法の靴1つしか履けない。(重ねて履くことはできない)

ルール4:1度魔法の靴を履いて移動した足は、もう使うことはできない。(例えば、右足だけでA地点からB地点に移動したら、B地点からA地点に戻る必要ができた場合に左足しか使えない。両足に魔法の靴を履いてA地点からB地点に移動した人は、それ以上足を使って移動することはできない。)

2. 必要に応じて、「見張り役」を決めてルール違反がないように確認する。

全員が移動できるよう、頑張りましょう!



他の方法:

人数が多い場合は、複数のパトロールに分けます。全員がA地点からB地点まで一番早く移動できたチームが勝ちです!



# 5

## 自分の感覚とつながる



ねらい:これまでにない方法で、地域を探索しながら、互いを知り、信頼を築く



### 準備:

探索コースの設定。部門のレベルに合わせて、簡単な探索ができるような屋外の場所を選び、コースを設定する。この活動は、郊外でも都市部でもできるが、年少部門に対しては特に安全な環境を選ぶよう注意する。活動を行う前に、頭上、足元、周り等に危険がないかを確認し、必要ならばその場所に目印をつける。屋外での広範囲にわたる活動を支援するリーダーが十分にいるか確認する。2人1組になり、どちらか1人が目隠しをする。



### 活動方法:

1. 今までにない方法で探索し、活動を楽しめるよう支え合う。各ペアで、先に目隠しする人を決め、その人を「A」とし、他方を「B」とする。
2. 安全について話し合い、確認する。目隠しした人「A」が、精神的、身体的に不快で怖がる場合は、目隠しを取ることができる。「B」は、常に周囲の障害物に気を配りながら「A」を進む方向へ導く。その人の身長、体力、平衡感覚を考慮すること。
3. 「A」は目隠しをして、「B」は「A」の手をつなぐ。手をつなぐ代わりに、袖をつかむ、声だけを頼りに進むことにしてもよい。
4. 「B」は、コースに沿ってゆっくりと「A」を導き、安全を確認しながら常に「A」と意思疎通を計り、危険な所を警告し、「ここがかがんで」「次の歩幅をかなり広くして」などと指示する。「A」は視覚以外のすべての感覚を使っていつでも質問することができる。音、臭い、地面の様子、空気の動きなどを感じるようにする。
5. コースの中間地点で「A」と「B」の役割を交替する。「A」と「B」は、違うコースを歩けると一番良いでしょう。
6. 話し合う:この体験から何を感じたか、何を考えたか? 「A」、「B」それぞれの役割はどのようなものだったか? 日ごとのパトロールの活動に生かせることがあったか? お互いのコミュニケーションの取り方から、どのような物事の見方や手がかりを学んだか?



### ヒント:

年長の場合、探索しながら指定のものを集めるなど、特定の課題に取り組むようにし、「B」が「A」を助けすぎないようにしましょう。例えば、石を集める、濡れたものに触る、木に抱きつく、音で動物を聞き分けるなどの課題が考えられるでしょう。屋内で実施する場合は、時計を指す、ペンを集める、アート作品に触れるなどもよいでしょう。



### 発展:

年長部門は時間をかけて取り組み、より挑戦的なハイキングを実施してもよいでしょう。視覚以外の感覚も使わず、同様の活動にも挑戦できます。探索する場所がない場合、パトロールの半分の人が目隠しをし、残り半分の人が後ろで両手を縛るなどして手は使えないようにして、テントを立てるなど、さまざまなチャレンジを試してください。



# WAGGGSと つながる

## 活動を1つ選ぼう

次のパズルのピースを手に入れるために、WAGGGS、ワールドシンキングデイファンド、さらにワールドセンターとあなたがつながります。時間があれば、さらにいろいろな活動にチャレンジしてみましょう！



# 1

## 5つの地域とつながる



ねらい：世界のさまざまな地域のガールガイド・ガールスカウトを知る



準備：53ページの写真資料



活動方法：

1. WAGGGSには、アフリカ、アラブ、アジア太平洋、ヨーロッパ、西半球の5つの地域がある。53ページの写真は、異なる10カ国の加盟連盟のガールガイド・ガールスカウトである。どの写真がどの地域に加盟しているか連盟の会員の写真であるか当てる。



他の方法：

人数が多ければ、複数のパトロールに分けます。最も正解が多かったパトロールが勝ちとなります。



すべての  
年齢

5分

解答：1. 西半球（北アメリカ）、2. ヨーロッパ（トルコ）、3. アフリカ（タンザニア）、4. ヨーロッパ（スロベニア）、5. アジア太平洋（フィリピン）、6. アフリカ（ガーナ）、7. アジア（インド）、8. アジア太平洋（インドネシア）、9. アジア（オーストラリア）、10. 西半球（メキシコ）

# 2 GLOWとつながる



ねらい: GLOW\*に含まれるプログラムを体験し、WAGGGSについて学ぶ

## 準備:

インターネット接続できる環境、年長部門が少人数のグループに分かれて活動するために十分な数のパソコン、タブレットまたはスマートフォンなど

## 活動方法:

1. パトロールで、パソコン、タブレットあるいはスマートフォンを使って、GLOWのホームページ ( [glow.waggggs.org](http://glow.waggggs.org) ) を開く。(初めての場合は、アカウント登録が必要です。)
2. WAGGGSのトップページを開き、検索機能を使いCourse→Glow learning →Introduction to WAGGGSのページを開く。
3. コースを修了し、インターネット上のバッジと修了証を取得する。  
(インターネット上のバッジのみで、実物のバッジが郵送されることはありません。)

## 発展:

i-LeadやFree Being MeのようなGLOWが提供する自由に参加できるその他のオンラインプログラムを見つけ、さまざまなフォーラムに参加している他連盟の会員とつながりましょう。

\*GLOWとは、WAGGGSが提供しているGlobal Learning Onlineプログラムのことで、ガールガイド・ガールスカウトがインターネットを使って、教育プログラムや研修を受けることができる、オンライン学習の機会です。(英語)

GLOWの内容は、すべての年齢に対応できますが、主に16歳以上を対象に作成されています。

すべての  
年齢

15分

# 3 ワールドシンキングデイファンドとつながる (その1)



ねらい:WAGGGSに届いたワールドシンキングデイファンドがどのように活用できるか考える



準備:

パトロールで活動する。  
一人ひとりが下の表のコピーと筆記用具を持つ



活動方法:

1. ワールドシンキングデイに伴う募金活動は1932年に始まり、WAGGGSの重要な資金源となって今日まで継続され、多様なプロジェクトを支援していると説明する。
2. パトロールで、ワールドシンキングデイで集められた寄付を持っていると想像する。その合計金額は100 Wagggisy (ワグジー:金額と通貨はこの活動のために考案された仮想通貨)とする。以下の表のプロジェクトへWagggisyをどのように分配するか、パトロールで考えて決める。

プロジェクトの内容	Wagggisy
健康と衛生に関するプログラムを自国のガールスカウトに提供するために25人の会員をトレーニングする	
国連女性の地位委員会 (CSW) に参加する、異なる加盟連盟10人の若い女性へ助成金を提供する。若い女性の人生に影響を及ぼす問題について、彼女たちの声が世界的な意思決定者に届く機会となる。	+
安全にインターネットを利用するためのWAGGGSの教材を1000部コピーする。そして、インターネットの安全な利用方法を学ぶ機会を1000人のガールスカウトに提供する。	+
ワールドセンターでボランティアスタッフとなる、10人のWAGGGSのさまざまな加盟連盟のヤングリーダーに助成金を提供する。このプログラムで、ヤングリーダーは人生とリーダーシップ能力を向上させ、実践的な職業体験を積み、自信をつける。	+
地域活動プロジェクトを通して地域を支援することができるよう、300人のリーダーを研修するために加盟連盟を援助する	+
合計	= 100



活動は、次のページに続きます。

# 3

## ワールドシンキングデイファンドとつながる (その2)



### 活動方法:

3. 各パトロールは、それぞれのプロジェクトにいくらWagggisy(ワグジー)を分配するか、メンバーの意見を一致させなければならない。
4. すべてのパトロールの話し合いが終わったら、それぞれの分配表を他のパトロールと比べる。
5. 話し合う:パトロール間で、それぞれのプロジェクトへのWagggisyの分け方に共通する考え方があったか?各プロジェクトにWagggisyをどのように分配するか、決めることは簡単だったか、それとも難しかったか?例として挙げられたプロジェクトは、毎年WTDファンドで支援されるたくさんの活動の一部である。WTDファンドを集めるために、どんな計画を立てているか。5ページのアイディアを参考にする。



### 発展:

資金調達活動計画を立ててみましょう。

- ・資金調達活動計画のために、WAGGGSの教材を活用すると、より多くの情報を得られます。(英語)
- ・WTD 2016 justgivingのページで、他のガールガイド・ガールスカウトの募金活動を参考にしましょう:[campaign.justgiving.com/charity/wagggis/wtd2016](http://campaign.justgiving.com/charity/wagggis/wtd2016) (英語)
- ・計画を実施し、募金活動のイベントを開きましょう。
- ・活動の様子をソーシャルメディアやWTD 2016 justgivingのページに投稿し、その体験を共有しましょう。みなさんの話は、私たちの運動を支援したいと考える今後の寄贈者に影響を与えることでしよう。WAGGGSは、みなさんの募金活動の話をもっとたくさん知りたいと思っています。

## 世界中のガールガイド・ガールスカウトと連絡が取れることを知っていますか?

WAGGGSのウェブサイト[www.wagggis.org](http://www.wagggis.org)から、Our Worldのページを見つけてください。WAGGGSの146加盟連盟の一覧表があります。そこから、連絡したい1つの国を選び、その加盟連盟がホームページを持っていれば、その連盟の問い合わせ欄からメールアドレスを見つける。あるいは、その国のホームページに載っているメールアドレスを使ってみましょう。

メールアドレスが分かったら、その国に、支援メッセージを送ることもできます。

所属している部門、あなたが何を希望しているか、伝えることを忘れないでください。(例:文通、スカイプを使って話し合う、など)。

メールを送った後、返事を受け取るまでにしばらく時間がかかるかもしれませんが、どうかかかりませんように。

# 4 サンガムとつながる



ねらい:サンガムワールドセンター(インド)をもっと知る



準備:

あなたが住んでいる所の絵葉書、または、紙と色鉛筆/鉛筆、インターネットへ接続、ビデオや写真撮影用のカメラ、または、携帯電話



活動方法:

1. サンガムとはサンスクリット語で「共に進む」という意味であり、「共に進む」とは、「つながる(connect)」方法の1つである。次の活動例から1つの活動を選び、サンガムのスタッフやボランティアと共に進もう。

- 手紙を書く、あるいは絵葉書を送る。
- サンガムのフェイスブックにメッセージを書き込み、あなたがいつサンガムを訪問したいかを伝える。
- 団や部門のInstagramの写真をサンガムに送る。
- インドのイメージについて、スマートフォンなどで動画を作る。
- サンガムにツイートで質問する。
- 他に思いついたこと。

2. サンガムのウェブサイト (<https://www.wagggs.org/en/our-world/world-centres/sangam/>;英語) で、インドの文化とつながる。ソーシャルメディアに投稿する際は、ハッシュタグ#WTD2016と#connect10millionを付けよう!



最低10分ですが、活動によって時間が変わります。



# 5

## アワシャレーとつながる



ねらい:アワシャレーワールドセンター(スイス)をもっと知る  
スイスで以前、実際に使われていたコミュニケーション方法を体験する



### 準備:

この活動は、屋外で走れる場所を選び、出発点と終点を決める。(出発点と終点の間は、約5メートルの距離とする。)

身近にある、さまざまな音の出る物(例:楽器、鍋類)をいくつか用意。  
アルペンホルンの写真があると、分かりやすい。



### 活動方法:

- 音を使って、離れた場所にいる人々とコミュニケーションをとる活動をすることを説明する。  
「スイスのアルプス山脈では、昔、コミュニケーションをとる道具として、羊飼いがアルペンホルンを使っていました。初めは、アルペンホルンは近くの山々にいる羊飼い同士や、谷間に住む人々との連絡に使われたのです。異なる音を組み合わせると、いろいろなメッセージが送られたのでしょうか。今日は、言葉ではなく、音だけでメッセージを伝えてみましょう。」
- 3つのパトロールに分け、羊飼い、牛、自然の役を分担する。
  - 羊飼い:音を鳴らす。
  - 牛:羊飼いが鳴らした音を聞いて、その方向について行く。
  - 自然:この役には、年長部門が最低3人含まれることが望ましい。  
彼らは岩、木、川などのような障害物として道に立ち続ける。
- 「牛」が「自然」の障害物に衝突することなく、「羊飼い」が鳴らした音(指示)に従い、出発点から終点までたどり着くことを目指す。  
最初に、用意された物や用具を使ってさまざまな音を鳴らし、次のようなメッセージを表す音を決める。例えば、右に曲がれ、左に曲がれ、まっすぐ前へ5歩進む、止まれ、など。全員がそれぞれの音の意味を覚えたか、確認する。
- 準備が整ったら、牛を放し、ゲームを開始!
- 終了したら、アワシャレーのウェブサイト(<https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/our-chalet/>:英語)で、スイスアルプスとつながる

すべての  
年齢

30分

# 6 パックスロッジとつながる



ねらい:パックスロッジワールドセンター(イギリス)をもっと知る



準備:モザイク画を作るための材料(新しい材料を購入せず、身近なものを再利用できるとよい。)



## 活動方法:

1. 用意した材料を使い、パックスロッジバスのモザイク画を作  
ることを説明する。「イギリスのロンドンにあるワールドセン  
ター、パックスロッジのロゴは鳩のマークですが、2階建て  
バスの特別なマークがあることを知っていますか?パックス  
ロッジは、バスや地下鉄などの公共交通機関がさまざまな  
観光名所や郊外へつながっていて、とても便利な場所にあ  
ります。今日は、2階建てバスの大きなモザイク画を作りまし  
ょう。」
2. 用意した材料を使い、パックスロッジバス(2階建てバス)の  
大きなモザイク画(絵)を作る。
3. モザイク画を作っている間に、もしパックスロッジを訪れた  
なら、ロンドンで行ってみたい場所について話す。
4. 2階建てバスのモザイク画ができたら、作品と一緒にグルー  
プの写真を撮る。
5. その写真をパックスロッジへ送ると、スタッフがみなさんからの写真をすべて合わせて、パックスロ  
ッジに大きなバスの壁画を作る予定。
6. 終了したら、パックスロッジのウェブサイト([https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/  
pax-lodge/](https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/pax-lodge/) :英語)で、ロンドンとつながる。



また、活動の様子や作品をSNSで共有することもきるでしょう。  
その際は、ハッシュタグ#WTD2016や#connect10millionをお忘れなく!



# 7 アワカバニヤとつながる



ねらい:アワカバニヤワールドセンター(メキシコ)をもっと知る



準備:画用紙、マジックや絵の具、筆記用具、想像力



## 活動方法:

1. アワカバニヤに行って、国際的なイベントに参加していると想像し、次の活動をすることを説明する。  
「あなたは今、メキシコのアワカバニヤにきています。さまざまな国のガールスカウトと共に、国際的なイベントに参加していると想像しましょう。そこで、次のことを考えてみましょう。」
  - ・メキシコやアワカバニヤについて、どんなことを知っていますか？
  - ・このイベントでどんなことに挑戦してみたいですか？
  - ・そこで、あなたが会いたいと思う人は誰ですか？
  - ・他の国から参加しているガールガイド・ガールスカウトと、どんな共通点がありますか？
2. 「友情」と「メキシコ」という2つの言葉を聞いて心に浮かんだことについて、パトロールで自由に意見を述べる。
3. 自由に出された意見の言葉をできる限り多く書き留める。
4. 書き留めた言葉を使い、「アワカバニヤでの国際的な友情」という題の詩や歌を書く。
5. パトロールの準備ができれば、他のパトロールと作品を発表し合う。
6. 作った詩や歌をアワカバニヤへ送る。あるいは、ソーシャルネットワークで作品を共有する。  
その際は、ハッシュタグ#WTD2016や#connect10millionを付ける。
7. アワカバニヤのウェブサイト (<https://www.waggs.org/en/our-world/world-centres/our-cabana/>:英語)で、永遠の春の都、アワカバニヤとつながる。

すべての  
年齢

15min

# 8

## 5番目のワールドセンター クサフィリとつながる



ねらい:5番目のワールドセンター(アフリカ)をもっと知る



準備:アフリカに関する問題文(下記の○×問題)、解答用の○×カード  
競い合うことができるよう、参加人数によって、より小人数のパトロールに分けてもよい



活動方法:

1. 年長部門もしくはリーダーが1つずつ、問題を読む。
2. 問題が読まれたら、各パトロールは、それが正しいか間違っているかを考え、○(正しい)のカード、または×(間違い)のカードのいずれかを持って立つ。
3. 答えを教える。×の答えの場合は、補足の情報を読んで正しい情報を伝える。

問題:( )は解答

- ・アフリカは1つの国である(×:アフリカは54カ国からなる大陸である。)
- ・「アフリカ語」という1つの言語がある(×:アフリカには2000以上の言語がある。)
- ・アフリカ地域の加盟連盟は31カ国で、少女と若い女性の会員数は100万人に満たない。(○)
- ・2010年のアフリカ地域会議で、アフリカでワールドセンターの体験を提供する機会を作りたいというアフリカ地域委員会の意見が、満場一致で可決された。(○)
- ・5番目のワールドセンターは、他のワールドセンターのように、特定の場所に施設がある。  
(×:5番目のワールドセンターは、固定の施設ではなく、実施プログラムに応じてアフリカ各地の既存施設を利用する。既存の施設を利用し、さまざまな場所でワールドセンターの体験をWAGGGSがどのように提供できるか、実施調査しているプロジェクトである。アフリカ各地で、異なる国の少女と若い女性が国際的な体験をできるようにする。)
- ・これまで、ガーナ、南アフリカ、ルワンダ、ケニア、ナイジェリア、ベナンで、5番目のワールドセンターとしてのプログラムが開催された。(○)
- ・WAGGGSアフリカ地域では、2020年までに200万人の少女と若い女性の会員達成を目標にしている。(○)

すべての  
年齢

15分

# 世界と つながる

## 活動を1つ選ぼう

公園、自宅周辺、浜辺、どこでも構いません。さあ、外に出て、世界とつながりましょう!身近な世界から学ぶことはたくさんあり、ここで紹介する活動は私たちのつながりをさらに一步広げます。この章は、パズルの最後のピースを手に入れます。最も気になる問題に声をあげ、行動をおこし、挑戦してください。時間があれば、もっといろいろな活動に積極的に取り組んでください!



# 1

## 多様性につながる



**ねらい:**もっと心を開き、地元の社会的少数派の人々を受け入れる



**準備:**全員で大きな輪になれる屋外の広場など



**活動方法:**

1. 参加者全員で大きな輪を作る。
2. リーダーが、さまざまなグループを作る特徴を挙げる。そのグループに当てはまると思う人は一歩輪の中に入って、小さな輪を作る。

最初は、リスクの少ない特徴から始めるとよい。(例えば、髪の毛の色などの身体的な特徴、メガネをかけているかどうか、服の色、兄弟姉妹の数など。)最終的に、差別されていると考えられる特徴や地域の社会的少数派グループに広げる。(例えば、障害をもった人や国籍や宗教が違う人など。)

3. 輪の中に移動した全員一人ひとりに、そのグループの一員として最も良かったことや感想を聞く。
4. 話し合う:
  - ・内側の小さな輪の中にいる時はどんな気持ちだったか?
  - ・大きな輪に残っている時はどんな気持ちだったか?
  - ・ガールスカウトは、どのくらい多様性のある団体か?
  - ・どのようにすれば私たちの団は、さらにどんな人でも受け入れ可能になると思うか?



**発展:**

どうすれば、あなたの団が少数派のグループをもっと受け入れられるようになるか行動計画を考えましょう。

すべての  
年齢

10分

# 2 つながって、考えよう!



**ねらい:**世界中のいろいろな場所を知る



**準備:**

インターネット接続の環境、パトロールで活動するために十分な数のパソコン、タブレットやスマートフォンなど



**活動方法:**

1. パトロールごとに、無料オンラインゲーム「Geo Guessr (Geoguessr.com/world/play: Googleマップのストリートビュー を使い、画像の景色から国、都市、場所を当てるゲーム)に接続し、合図に合わせてゲームを開始し、世界のどこの画像か全部で5問を当てる。
2. 得点結果が出るので、得点の高いチームが勝ち。
3. 話し合う: どこか新しい場所を発見したか? 考えた答えは、正解から近い場所だったか、遠い場所だったか?



**発展:**

問題に出てきた場所の中で、インターネットで検索し、さらに情報を見つけないかと思った場所はありましたか? 関心を持った場所について、調べてみましょう。



**他の方法:**

オンラインゲームではなく、国内外の都市や目印となる建物や自然の写真を10枚ほど準備し、どこの場所、国か当ててもよいでしょう。

リーダーが、正解時の点数を決めて、競い合うこともできます。



# 3

## チーフを身につけて1日過ごす



**ねらい:** ガールスカウトであることの意義を地域の人々に伝える



**準備:** ガールスカウトのユニフォームのチーフ



**活動方法:**

1. 各自、さまざまな活動を行う日の中から1日を選び、チーフを身につけて外に出かけて会員以外の人と関わることを説明する。「自分が、1日中チーフを身につける日を選びましょう。実現できそうな日はありますか?その日は、学校へ行く時、スポーツをする時、友だちに会いに行く時、思いつく限りどんな時でも、1日中チーフを身につけます。」
2. 周りの人に、ガールスカウト運動のことやワールドシンキングデイについて話をするようすすめる。例えば、次のような内容を話せるよう、集会で話し合っておくとよい。
  - ・ガールスカウトでどんなことを経験するか、この運動に参加することの意味。
  - ・さまざまな技能を身につけた自分の体験談やガールスカウトが地球規模の問題にどのように関わっているか。
  - ・少女や若い女性が声をあげ、キャンペーンを行い、周りの人々から、国レベル、地域レベルあるいは、世界レベルで、環境、容姿に対して自信を高めること、少女に対する暴力をなくす活動など、多くの問題に対して行動を起こしていること。詳細は、WAGGGSの公式ウェブサイト ([www.wagggs.org](http://www.wagggs.org): 英語) や日本連盟公式ウェブサイト (<http://www.girlscout.or.jp/>) を参照。
3. ワールドシンキングデイファンドについて説明し、寄付の金額の大小にかかわらず、私たちの運動にどれだけ大切なものかを紹介する。ワールドシンキングデイファンドの詳細は、WAGGGSの公式ウェブサイト ([www.wagggs.org/en/what-se-do/world-thinking-day/world-thinking-day-fund/](http://www.wagggs.org/en/what-se-do/world-thinking-day/world-thinking-day-fund/): 英語) 参照



**発展:** あなたの「チーフを身につける日」を簡単な記録に残しませんか? ハッシュタグ#WTD2016や#connect10millionをつけて体験談をソーシャルメディアで共有しましょう。



**ヒント:** 2016年2月22日は月曜日です。その日にチーフを着用しませんか?



# 4

## 積極的につながる



ねらい:地域に積極的に関わり、身近なところからこの運動を広める



### 準備:

ガールスカウト運動について周りの人々に知ってもらうために、フラッシュモブを計画する!目立つところ、写真映えするところ(例えば背景に有名な目印になるようなところがある場所)など、たくさんの人々が集まる、人通りが多いところを選ぶ。



### 活動方法:

1. 人通りの多い時間を選ぶ。通勤途中の人々に元気を与えることができる早朝に行うのも楽しい。
2. ガールスカウト活動の体験を紹介する独創的な方法を考え、感動的な言葉のメッセージを発信する。例えば、自然の中で実際に生活をする(キャンプ)、若い人々の参加、地域社会で行動する、友情、世界規模の運動、地球規模の問題について声をあげるなど。
3. どのようにすれば人々に参加してもらうことができるか考える。画用紙、ペンなどの予備を準備し、フラッシュモブのポスター作りに利用する。文字は大きく鮮やかな色で書き、メッセージはできるだけ簡潔にする。
4. ソーシャルメディアでつながっている人々に、確実に案内する。例えば、フェイスブックでイベントを知らせれば、素晴らしい案内方法になる。



### ヒント:

年長部門は、活動の前に現代の課題(例えば、いじめや容姿に対する自信を高めることなど)について意見を出し合うことが、彼女たち自身にとっても仲間にとって最も重要です。そして、このフラッシュモブを通じて、どんな前向きなメッセージを発信したいのかを決定してください。フラッシュモブを行う際は、若い人々だけではなく、意思決定を行う人々にも声をかけてください。そうすれば、参加して、関わりを持ち、影響を及ぼす機会につながります。

**資金調達活動:**募金箱を準備し、会場の人々からワールドシンキングデイファンドの寄付を募りましょう。

活動の規模によって、少なくとも集会2回



### 発展:

体験談をお知らせください。フラッシュモブについてお便りをお待ちしています。イベントで撮影した写真をソーシャルメディアからWAGGGSに送りましょう。

ハッシュタグ#WTD2016や#connect10millionをつけてください。

すべての  
年齢



# 5

## 地元とつながる(その1)



ねらい:地元とつながり、前向きな変化をもたらす



### 準備:

カメラやカメラ付き携帯電話、スケッチパッド(手書きノートアプリ)、筆記用具、プリンター、写真を展示するためのいろいろな種類の紙やその他の素材



### 活動方法:

1. 自分の住む地域を改めて見直し、変化をもたらすために何ができるか考えるために、次の活動を実施することを説明する。「あなたが住んでいる地元のことをどのくらい知っていますか?どのように関心を持っていますか?もっと良い地域にするために、あなたができることを考えたことはありますか?何ができるか考えるために、次の活動をしましょう。」
2. 自分の地元についてよりよく知るために、カメラを持って出かける。地域の好きなところ、変える必要があると思うものを撮影する。(例:ゴミ、迷子の動物、空き店舗、水漏れなど。)
3. 写真を現像し、地元の中心にある場所(公民館や地域センターなど)で一般の人々に向けた団の展示会を計画する。
4. 展示会場では、できるだけたくさんの人々に地元の話をする。地元の素晴らしいところ、変わる必要性があるところの2種類を並べて展示する場合は、写真に見出しを付け、展示の構成を考える。展示についての広報活動をして、通りがかりの人には写真を見てもらおうと呼びかける。
5. 写真を見に来てくれた人全員に、もっとも印象に残った写真に投票してもらおうようお願いする。全員に投票してもらいやすい方法を考える。例えば、すべての写真に長めのリボンを付け、見に来てくれた人に安全ピンを2本ずつ渡し、最も重要な問題を表している写真のリボンに安全ピンをつけてもらう、写真の横に紙を貼っておき、印象に残った写真にシールを貼ってもらうなど。
6. コメントを書いてもらうボードを設置し、展示の感想を書いてもらう。
7. 意思決定を行う人(学校の校長先生、村長・市長や地元の議員等)や、マスメディアに写真展を案内する。それにより、地域の人々が取り組む必要性を感じている問題がわかることになる。
8. 展示が終了したら、一番投票の多い写真を確認し、写真に表された問題点を話し合う。この写真に投票したか?行動をおこし、この問題に前向きな変化をもたらすためにできることはあるだろうか?

活動の規模によって、  
少なくとも集会2回

すべての  
年齢



活動は、次のページに続きます。

# 5

## 地元とつながる(その2)



### 発展:

活動その1で出された提案を行動に移し、より良い地域にしましょう!WAGGGSの地域活動プロジェクトに関する教材、“Be the Change”(英語)は、きっとあなたの役に立ちます。

体験談を広めましょう!写真展の成果をみんなに伝え、WAGGGSに写真を送ってください。ソーシャルメディアを利用するか(ハッシュタグ#WTD2016や#connect 10 millionをつけることを忘れずに)、メールでyouthlearning@waggs.org (英語)に送ってください。



### ヒント:

展示会場の利用許可をもらうことを忘れないでください。

写真展をガールスカウト活動の広報活動にしましょう?団の活動、入会方法、ワールドシンキングデイファンドの募金箱に関する情報を写真と共に掲示することもできます。

年少部門も、支援が得られればこの活動を実施することができます。彼女たちが写真を撮る時に、手伝いが必要でしょう。一緒に歩いて写真を撮り、展示を計画する手伝いを保護者などをお願いしてみましょう。

あるいは、年少部門が経験したことのある地域活動の一部について話し合い、彼女たちが変わってほしいと思うことを一緒に考えます。何をするかにもよりますが、アイデアを発展させられるよう、次のようなさまざまな方法を試してください。

- 投票で選ばれた課題を管轄している地域の部署に連絡し、団で詳しく話をしてもらおうよう依頼する。そして自分たちにできることについて理解する。
- 年少部門の保護者の中に、その課題についての知識やつながりがある人がいるかもしれません。計画を準備するサポートをお願いしてください。
- スタンツを準備し(例えば、環境保護への意識向上など)、家族や友だちに発表してもよいでしょう。

# 6 自然とつながろう!



ねらい: 屋外での観察や考察へつながりを感じる



## 準備:

少女に外に出かける計画を立てるように勧め、出かける。(行き先は、屋外であればどこでよい。) 天候に合った服装を着用。

人数分の画用紙、筆記用具



## 活動方法:

1. 目的地に着いたら、各自が直径約4.5メートル以内の自分の場所を探し、自分の「島」とする。
2. 15分～1時間内で時間を設定し、自分の島で過ごす。島にいれば、何をしてもよい。ただし、自分の島についてできるだけたくさんを知りたい時間とする。細かいところまでよく見て、どのように感じるか考える。
3. 時間が終わったら全員集まり、体験したことを絵や文章にする。
4. 話し合う: あなたの島に他の人からどんな反響があったか? そこに行ったことがない人が、その島を想像できるか? 島を大切にするためにどんなことができるか? など。



## 発展:

初めて訪れる場所で実施する大きな活動の一部にこの活動を組み込むこともできます。年長部門は、島の範囲を広げ、生物の多様性と人々への影響を観察しましょう。自然を大切にするためのアイデアを実際に行動に移しましょう!



## WAGGGSとつながろう!

WAGGGS公式ウェブサイト ([www.waggggs.org](http://www.waggggs.org): 英語)、ツイッター (@waggggs\_world)、フェイスブック ([www.facebook.com/waggggs](http://www.facebook.com/waggggs))、タンブラー ([wagggswtd.tumblr.com/submit](http://wagggswtd.tumblr.com/submit)) につながるか、みなさんのワールドシンキングデイ体験談をメールでお送りください (送付先: [youthlearning@waggggs.org](mailto:youthlearning@waggggs.org))。

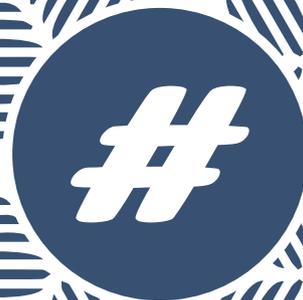
ソーシャルメディアへの投稿には、ハッシュタグ (#WTD2016 や #Connect10million) をつけましょう。

# 1千万人と つながる

2016年のワールドシンキングデイの最後の活動となりました。

この活動では、ハサミ、マジックペンや色鉛筆、カメラやカメラ付携帯などが必要です。

インターネット接続の有無は問いません。



# ワールドシンキングデイを祝い、#1千万人とつながろう!

**つながる:**45～52ページに4つのパズルのピースがあります。4つ全部切り取って4角に貼り付け、図のように大きな額縁を作ります。団や部門の全員が額の中にちょうど立てるくらい、できるだけ大きく(120cm×160cmくらい)しましょう。厚紙や段ボールを利用してください。



私とつながる



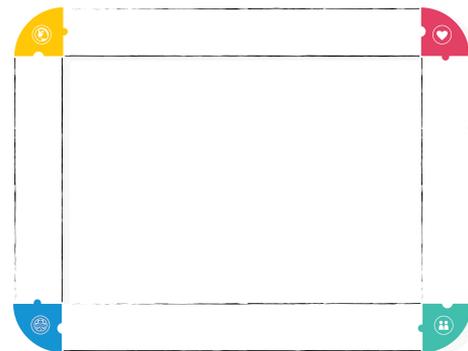
友だちとつながる



WAGGGSとつながる



世界とつながる



**ふりかえり:**額縁ができたなら、2016年のワールドシンキングデイの活動であなたが実施した活動と、そこで学んだことをふりかえります。それぞれの活動についての短いメッセージを額縁の枠に書いてください。メッセージは、それぞれの活動ごと(章ごと)に額縁の枠の場所を決めて書きます。メッセージは、新しくあなたが学んだこと、あなたにとって大切なつながり、とても楽しかったことなどです。全員がメッセージを書き終えたら、創造力を発揮して額縁を装飾します。(メッセージを隠してしまわないようにしてくださいね!)

**#1千万人とつながる:**1千万人とつながるための額縁の準備ができました!団や部門の全員で額縁の中に入って写真を撮りましょう。「つながる(Connect)」という言葉を入れた写真の説明を考えて付けましょう。インターネットに接続できる場合は、ハッシュタグ#connect10millionや#WTD2016を付けて、ソーシャルメディアに写真とメッセージを掲載してください。他のガールガイド・ガールスカウトの活動も見てみましょう!

2016年のワールドシンキングデイ活動で、あらゆるレベルでつながりを持つことができました。おめでとうございます!

自分自身、周りの人々、私たちの運動、そして世界について何か新しいことを発見しながら、活動を楽しんでいただけましたでしょうか。これらのつながりが、私たちの可能性を最大限に引き出し、前向きな変化を起こすことを信じています。みんなでつながれば、より良い世界を作ることができます!

## #1千万人とつながるパズルの額縁のその他の使い方

- ワールドシンキングデイを祝うパーティーを開き、家族や友だちを招待してメッセージを共有する。
- ワールドシンキングデイファンドの募金活動に利用する。
- 近隣や地域の人々が、地域に関する問題について意識を高めて声をあげることに協力してもらえようこの額縁を利用する。

2016年のワールドシンキングデイの体験や感想を共有しましょう。

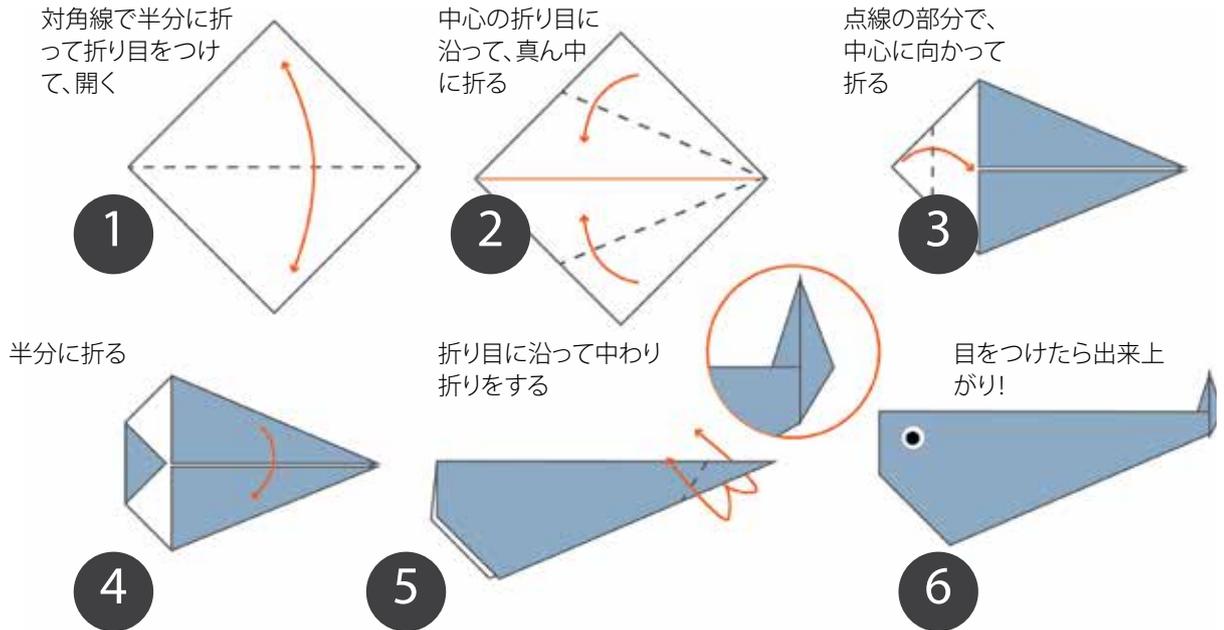
詳細は、WAGGGSのウェブサイト (<https://www.waggs.org/en/what-we-do/world-thinking-day/>) をご参照ください。

# 付録

活動：自分の学習スタイルとつながる (P.13)

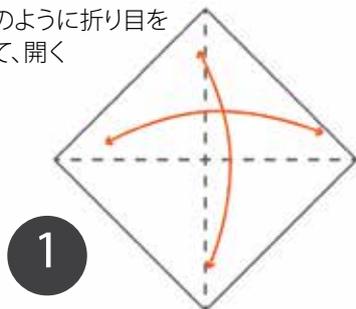
## 折り紙の折り方

### 折り紙A クジラの折り方



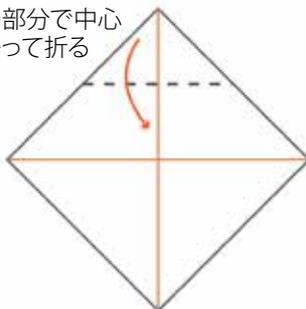
# 折り紙B ハートの 折り方

点線のように折り目をつけて、開く



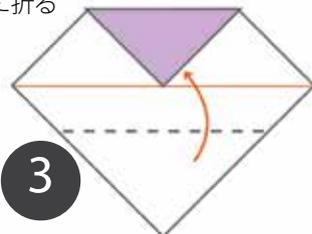
1

点線の部分で中心に向かって折る



2

点線の部分で、  
②と少し重なるように折る



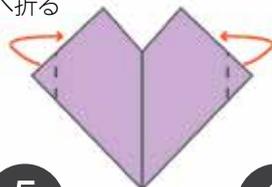
3

点線の部分で中心に向かって折る



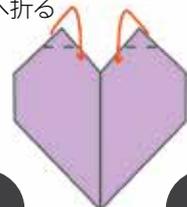
4

点線の部分で後ろ側へ折る



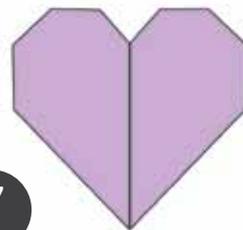
5

点線の部分で後ろ側へ折る



6

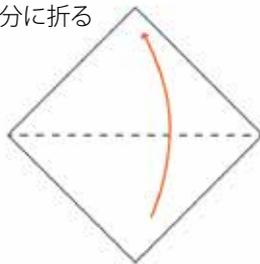
出来上がり!



7

# 折り紙C ネコの 折り方

対角線に半分に折る



1

半分に折って、折り目をつける



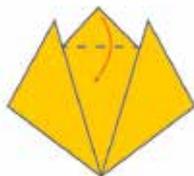
2

点線の部分で中心に向かって折る



3

点線の部分を  
手前に折る



4

裏返す



5

顔を書いて  
出来上がり!



6

# あなたはどの学習スタイル？



## 視覚型学習者

- **特徴:**早口、人の話を妨げる傾向がある。表や図解を見て記憶し、絵から情報を得る傾向がある。
- **学習の提案:**覚えなくてはならない情報は絵に描くか、要点をまとめる。新しいことを学習する時は、情報カードを使うとよい。



## 運動型学習者

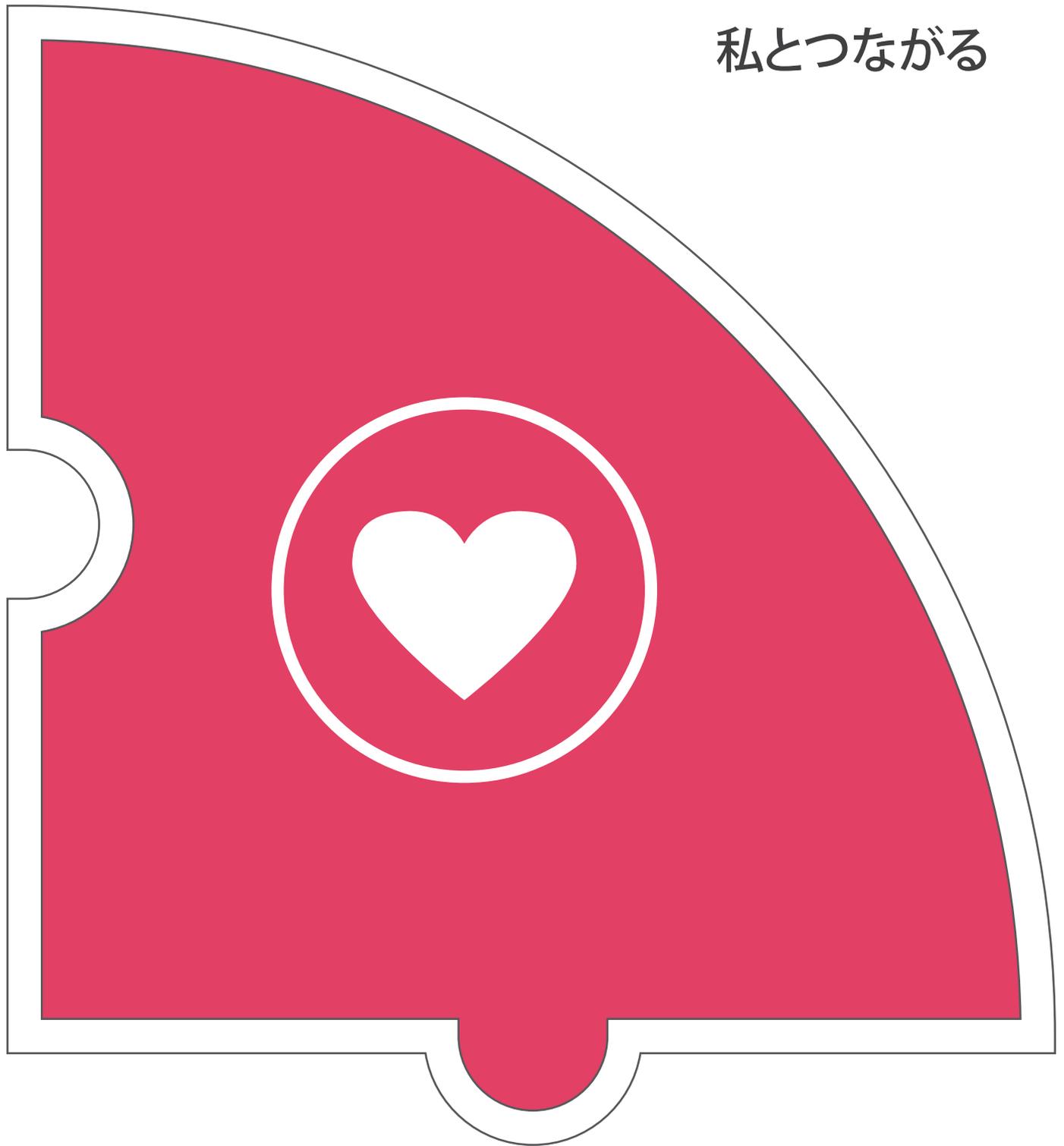
- **特徴:**ゆっくり話をする傾向、体験学習型、現実の問題を実践的に解決することで学習する。
- **学習の提案:**新しい言葉や概念に動作を結び付け、何か新しいことを学ぶ時は他の人と一緒に活動し、周囲のスペースを活用する。

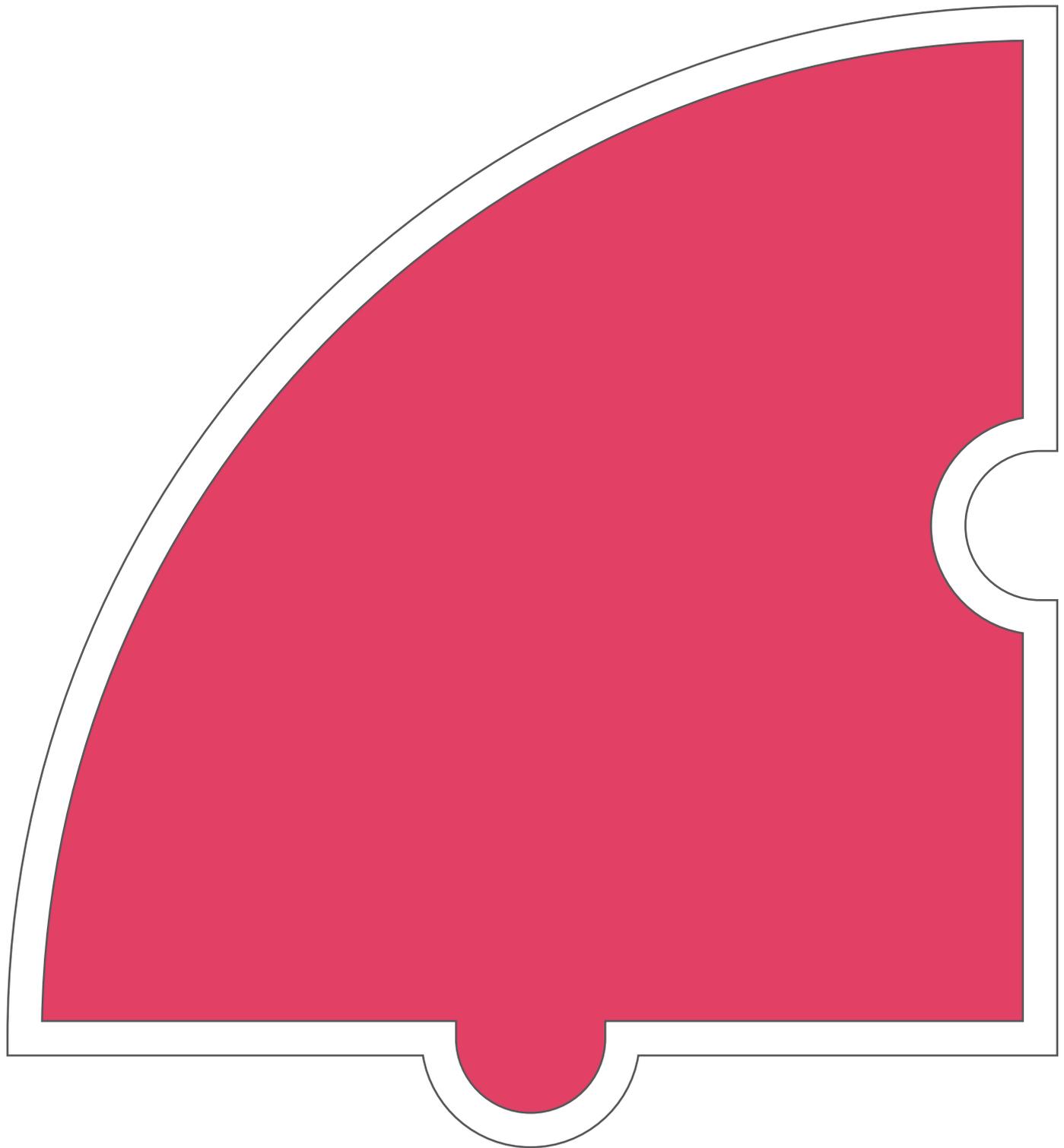


## 聴覚型学習者

- **特徴:**ゆっくりと、きちんと物事を説明する傾向、聴き手にまわり、直線的に考える傾向がある。
- **学習の提案:**情報を暗記する時は言語連想法を利用し、グループディスカッションに参加するとよい。

私とつながる





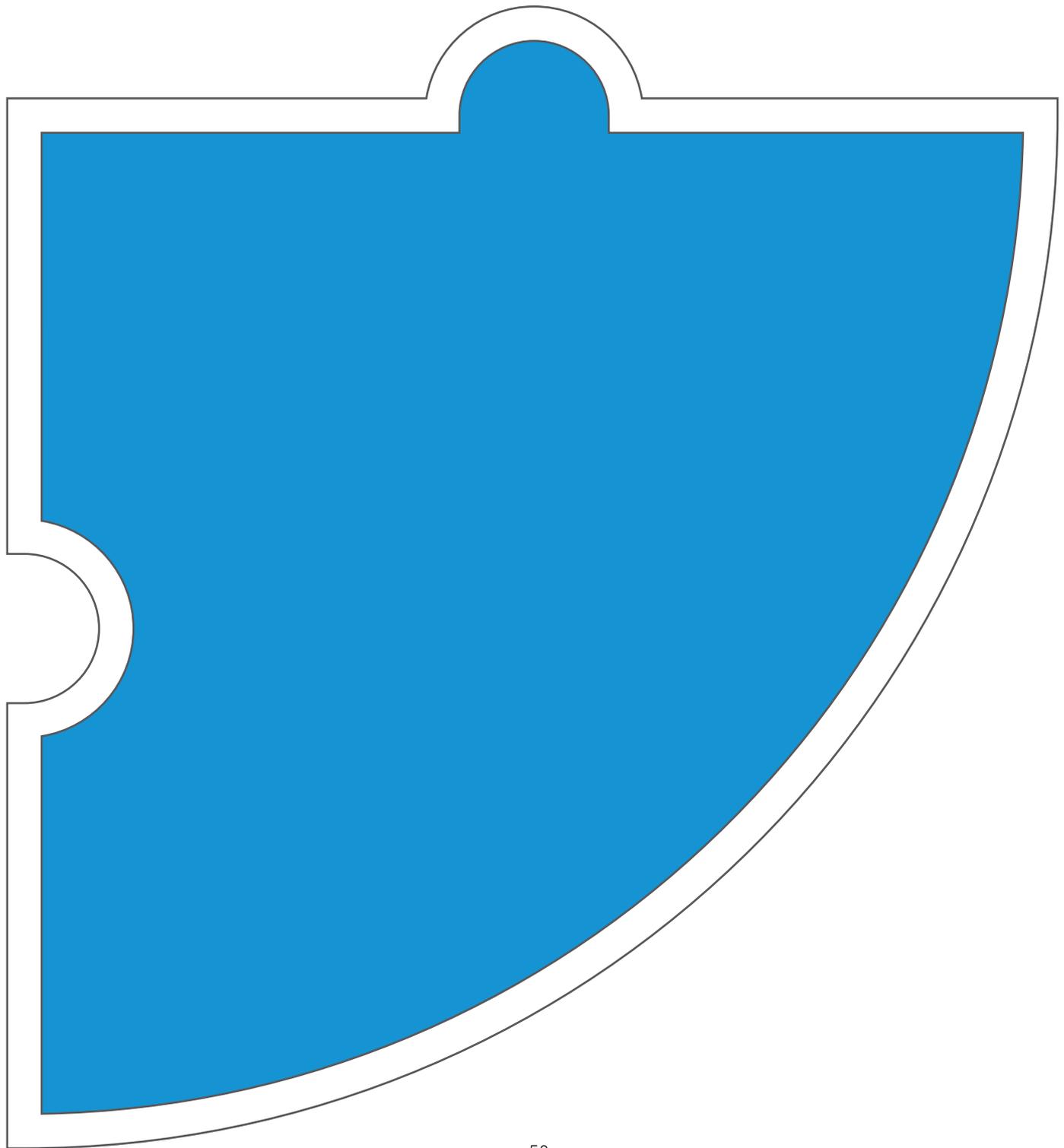


友だちとつながる

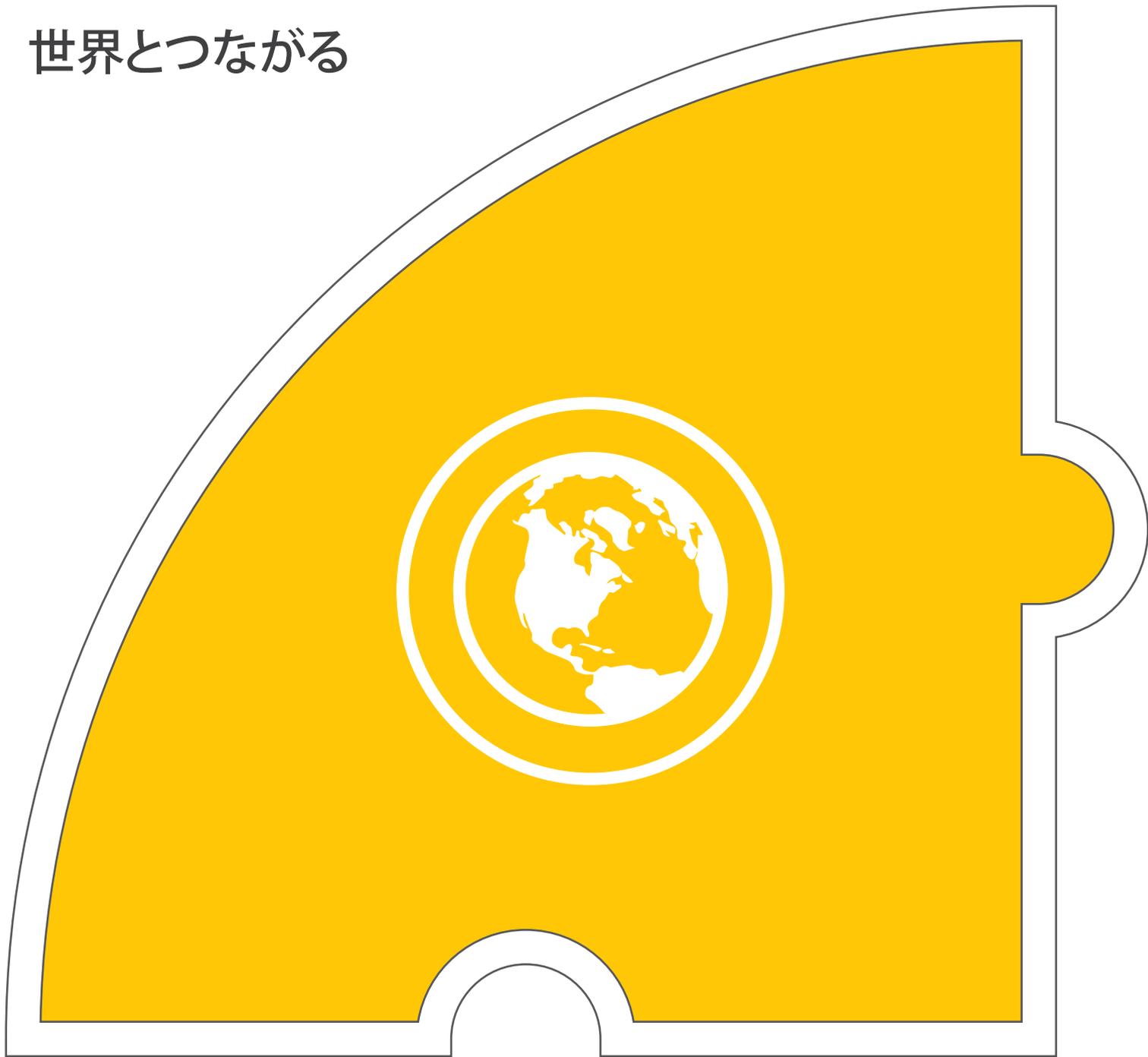


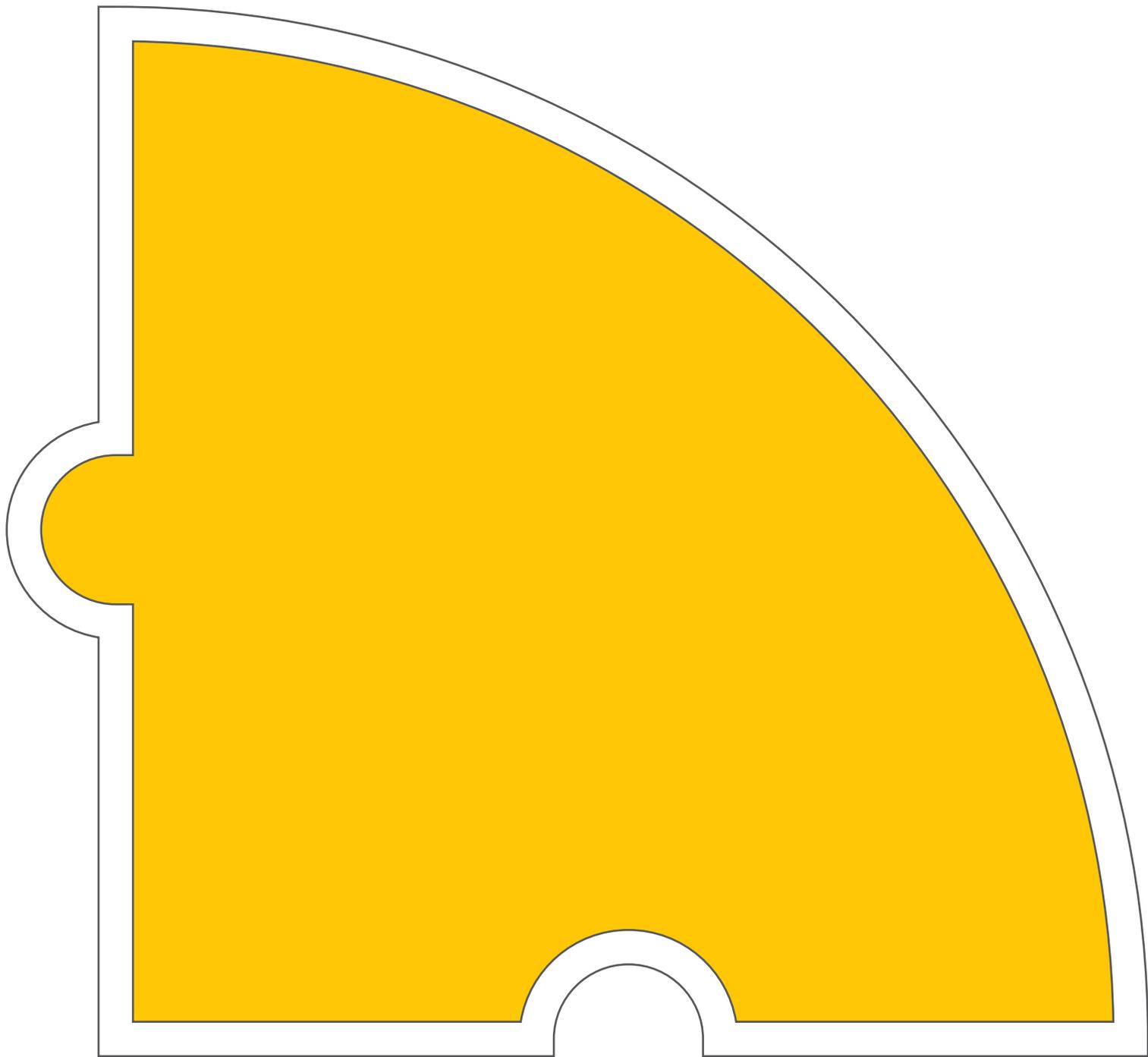


WAGGGSとつながる



世界とつながる







# 2016年のWTD活動パックを楽しんだら、 次のようなWAGGGSの他の活動も取り組んでみましょう。

活動名	主な内容	教材の入手方法
Be the Change	一日一善からさらに前進し、あなたのコミュニティで行動を起こします。プロジェクトを計画し、実行するために必要な技能を学び、あなたが気になっている場所や人々に前向きな変化をもたらします。14歳以上の会員向け。	WAGGGS公式ウェブサイト <a href="http://www.waggs.org/en/resources/be-the-change-community-action-toolkit/">www.waggs.org/en/resources/be-the-change-community-action-toolkit/</a> (英語) ※日本語頒布予定
大好きなわたし～ Free Being Me フリー ビーイングミー～	少女の容姿に対する自信を高め、イメージにとらわれていることに対して声を上げます。	<a href="http://www.free-being-me.com">www.free-being-me.com</a> (英語) 日本連盟公式ウェブサイト <a href="http://www.girlscout.or.jp/members/activity_materials/fbm/">http://www.girlscout.or.jp/members/activity_materials/fbm/</a> (日本語)
みんなでつくる暴力のない世界 (Voices against Violence)	少女に対する暴力は、大きな問題です。若者が、さまざまな形式の暴力があることを知ることで力をつけ、自分たちの権利とその権利を行使できるよう力をつけます。STVキャンペーンの教育プログラムです。	WAGGGS公式ウェブサイト <a href="http://www.waggs.org/en/what-we-do/stop-the-violence/resources/">www.waggs.org/en/what-we-do/stop-the-violence/resources/</a> (英語)
一緒になら、この世界を変えられる (GAT)	国連ミレニアム開発目標について、聞いたことがありますか？ 貧困をなくすための世界規模の活動に取り組み、WAGGGSのグローバルアクションテーマバッジを取得しましょう！	WAGGGS公式ウェブサイト <a href="http://www.waggs.org/en/resources/together-we-can-change-our-world-mdgs">www.waggs.org/en/resources/together-we-can-change-our-world-mdgs</a> (英語) 日本連盟公式ウェブサイト <a href="http://www.girlscout.or.jp/members/activity_materials/gat-theme/">http://www.girlscout.or.jp/members/activity_materials/gat-theme/</a> (日本語)
Surf Smart	インターネットの安全な使い方を知ることは、現代の若者にとって必要不可欠なことです。検索を上手に使う、インターネットを最大限に活用しましょう！	WAGGGS公式ウェブサイト <a href="http://www.waggs.org/en/what-we-do/surf-smart">www.waggs.org/en/what-we-do/surf-smart</a> (英語) ※日本語なし
ワールドシンキング デイ2015、それ以前の 活動パック	これまでのワールドシンキングデイ教材を活用しましょう。環境、教育、子どもの健康などのテーマについて学び、ボードゲームで遊びながらガールスカウト運動についても学びましょう。	WAGGGS公式ウェブサイト <a href="http://www.waggs.org/en/what-we-do/world-thinking-day/resources">www.waggs.org/en/what-we-do/world-thinking-day/resources</a> (英語) 日本連盟公式ウェブサイト <a href="http://www.girlscout.or.jp/members/activity_materials/international/">http://www.girlscout.or.jp/members/activity_materials/international/</a> (日本語)
YUNGAチャレンジ バッジ	国連機関、市民団体、他団体との協働で開発された、YUNGAチャレンジバッジは、生物の多様性、水、海、気候変動、森林、土壌、飢餓の撲滅などをテーマにしています。	<a href="http://www.fao.org/yunga/resources/challenge-badges/en/">www.fao.org/yunga/resources/challenge-badges/en/</a> (英語) ※日本語なし

2016年ワールドシンキングデイ活動パック  
(日本連盟版)

2015年12月

公益社団法人ガールスカウト日本連盟  
<http://www.girlscout.or.jp>

〒151-0066 東京都渋谷区西原1丁目40番3号  
Tel:03-3460-0701 Fax:03-3460-8383  
E-mail:gsj@girlscout.or.jp

